

# 仕 様 書

材料・ナノテクノロジー部

## 1. 件名

材料技術分野における俯瞰調査

## 2. 目的

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」という。）は、経済産業省との協力の下、材料技術分野の激しい国際競争を我が国が勝ち抜くための技術開発を推進している。また、同分野の技術開発事業の企画立案、マネジメント等を行っているが、世界の市場やプレイヤーが急速に変化、多様化し、各国の基礎研究や先端技術への取組みは、精力的・戦略的になっており、材料技術分野の研究開発と実用化の好循環を実現し、世界の中で日本が存在感を発揮するために、国内外の政策や技術開発の進展等最新の情報を把握する必要がある。本調査では、10年～15年後の将来に予測される社会や、日本の材料産業の状況を想定したうえで、今後日本として取り組むべき技術、解決すべき課題を整理することを目的とする。

## 3. 内容

- (1) 各種文献調査や企業の研究所所長、事業本部長など、有識者の方々へのヒアリング（20件10企業以上について行う）を通じて、各種材料技術分野に関する最新の状況、国内外の市場や技術の最新の動向を把握するとともに、短期（2025年）および長期（2050年）の将来に予測される社会や、日本の材料産業の状況を想定し、今後材料技術を用いて解決が望まれる課題等の整理を行う。なおヒヤリングについてはNEDOの同行を基本とする。

※以下の項目は、必ず調査すること

・材料技術分野（有機、無機、金属）について

- ① 政策的な側面からの課題（ニーズ）
- ② 材料メーカーの課題（ニーズ）
- ③ ユーザー企業の課題（ニーズ）
- ④ ①～③で抽出したニーズを解決する手段として適切な技術シーズ調査
- ⑤ 現時点でニーズはないが、技術的に注目されている材料技術
- ⑥ 関連文献（調査報告書、学会誌等）、学会、インターネット等による情報

#### 収集と現状把握

- ・材料技術分野の国内市場動向
- ・材料技術分野の海外市場動向
- ・材料技術分野の国内外の政策動向
- ・材料技術分野の開発状況
- ・材料技術分野の国内外の市場プレイヤー、
- ・材料技術分野のオープンイノベーションに積極的な企業

(2) NEDOとの協議で選定する産学官の有識者によって構成される委員会を設置し、(1)で収集・分析した情報を基に今後日本が重点的に取り組むべき材料技術分野を20課題程度に整理する。委員会の構成は、NEDOと協議の上決定とし、2回開催する。委員会のメンバーについては、若手研究者および女性研究者を各1名以上選定し、また数学者など他分野から材料技術に対する意見を参考にできる構成とする。なお委員会メンバー候補及びその選定理由を示すこと。

(3) 委員会の運營業務に関しては、事前調査、委員会資料の準備、会場手配・設営、会議に係る各種手配及び支払い、委員会等メンバーへの旅費・謝金の支払い、委員会等日程調整・各種連絡、議事録の作成等を行う。また課題、解決事項を確認して纏めること。

#### 4. 調査期間

NEDOが指定する日から2020年3月19日(木)まで

#### 5. 予算額

2,000万円未満

#### 6. 報告書

提出期限：2020年3月19日(木)

提出部数：電子媒体 CD-R (PDF ファイル形式) 2枚

提出方法：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って提出のこと。

[http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual\\_tebiki\\_index.html](http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual_tebiki_index.html)

#### 7. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

8. その他注意事項

提案書では、3の(1)～(3)(小項目①～⑥含む)の項目に沿った提案を行うこと。

以上